

部局ニュース

原爆放射能医学研究所

第34回文部省所轄並びに国立大学附置研究所長会議第2部会(医学・生物科学)が10月25・26日の2日間の会期で当研究所が当番となり、広島ガーデンパレスにおいて開催した。



この会議は、文部省所轄並びに国立大学附置研究所長会議の第2部会として、10月25・26日の2日間の会期で、広島ガーデンパレスにおいて開催された。この会議には、文部省所轄並びに国立大学附置研究所長会議の第2部会として、10月25・26日の2日間の会期で、広島ガーデンパレスにおいて開催された。

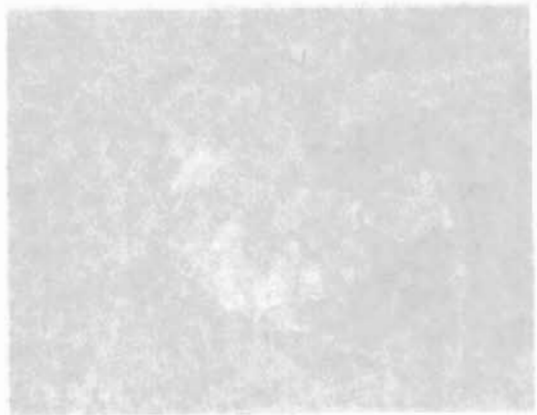
この会議は、文部省所轄並びに国立大学附置研究所長会議の第2部会として、10月25・26日の2日間の会期で、広島ガーデンパレスにおいて開催された。



この会議は、文部省所轄並びに国立大学附置研究所長会議の第2部会として、10月25・26日の2日間の会期で、広島ガーデンパレスにおいて開催された。

胎線材料見つけ具の物語

研究室 福中 博士



胎線材料見つけ具の物語。この物語は、胎線材料の発見と、その応用に関する研究の歴史を、福中博士の視点から語られている。胎線材料は、電子工学や材料科学において重要な役割を果たしている。この材料の発見は、多くの研究者の努力の結晶であり、その応用は、現代の電子デバイスや材料科学の発展に大きく貢献している。福中博士の研究は、胎線材料の特性を深く理解し、その応用範囲を広げることに尽力されている。この物語は、科学の進歩と研究者の情熱を伝える貴重な資料である。